

公益財団法人大河内記念会

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

当会は、生産のための科学技術の振興を目的として、従来に引き続き、その事業の根幹をなす大河内賞の表彰事業を実施した。

1. 表彰事業

(1) 大河内賞贈呈

大河内賞審査委員会(大学教授等20名の委員により構成)は、産業団体、学協会、大学、研究機関等から推薦された第69回(令和4年度)大河内賞受賞候補業績について、書類審査、業績内容に関するヒアリングおよび当該業績の製造現場等の実地調査による審査選考を行った。最終的に同委員会により6件が選定され、当会理事会の議を経て、令和5年3月22日に次のとおり大河内賞を贈呈した。受賞業績題目等は、別紙のとおりである。

大河内記念賞(賞状、メダル、副賞金100万円)……………	1件
大河内記念生産特賞(賞状、大型賞牌)……………	1件
大河内記念技術賞(賞状、メダル、副賞金30万円)………	1件
<u>大河内記念生産賞(賞状、賞牌)……………</u>	<u>3件</u>
合 計	6件

(2) 受賞業績報告書等の発行

第68回(令和3年度)大河内賞受賞業績の技術内容を掲載した「大河内賞受賞業績報告書」を発行して、国内の理工系大学、研究開発機関、学協会、産業団体、企業、賛助会員等に配布した。このほか、大河内記念会の事業活動の内容や関連の産業技術関係記事等を掲載する機関誌「五兆」を発行し、上記報告書同様関係各方面に配布した。

(3) 見学会の中止

例年、受賞業績に係るフォローアップに関連して、大河内賞受賞者、当会賛助会員等を交えて開催してきた「生産のための科学技術」に関する見学会について、高齢者を含む大人数の集会となるため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催しなかった。

2. その他

当記念会の表彰事業の充実及び当該事業に係る財政基盤の維持のため、新型コロナウイルス不況と言われる中で賛助会員の減少防止に努めた。

以上

第69回（令和4年度）大河内賞受賞業績・受賞者一覧

大河内記念賞：1件 大河内記念生産特賞：1件 大河内記念技術賞：1件 大河内記念生産賞：3件 合計6件

賞の名称	受賞業績	受賞者(社)
大河内記念賞	プロパンのアンモ酸化触媒とそれを用いたアクリロニトリル製造技術の開発	日名子英範 旭化成株式会社 研究・開発本部 技術政策室 イノベーション戦略部 産学連携グループ長 駒田 悟 PSジャパン株式会社 研究開発部 CR研究グループリーダー 渡邊 春彦 旭化成株式会社 生産技術本部 加工技術部長 福菌 敏彦 旭化成株式会社 生産技術本部 エンジニアリング センター 富士エンジニアリング部長 桐野 俊也 (元)旭化成株式会社 技術ライセンス部 技術顧問
大河内記念生産特賞	超高塗着エアレス塗装を基点とするCO2削減自動車塗装システムの開発	トヨタ自動車株式会社 トリニティ工業株式会社
大河内記念技術賞	複雑な磁場分布を実現した超電導磁石の3次元自動巻線技術	折笠 朝文 東芝エネルギーシステムズ株式会社 京浜事業所 シニアエキスパート 渡邊 郁雄 同 京浜事業所 エキスパート 藤井 寿朗 同 京浜事業所 スペシャリスト 高山 茂貴 同 エネルギーシステム技術開発センター スペシャリスト 林 家佑 株式会社東芝 生産技術センター スペシャリスト
大河内記念生産賞	Cu-Cu 接続を用いたヘテロジニアス積層型高精細SWIRセンサの開発	ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
	直接スラブ casting と表層組織制御によるチタン薄板の新製造プロセスの開発	日本製鉄株式会社 東邦チタニウム株式会社
	極端紫外線露光世代の半導体測長SEMの開発と高精度化	株式会社日立製作所 株式会社日立ハイテク

贈賞式 令和5年3月22日（水）於：日本工業倶楽部会館（東京・丸の内）